

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	文化人権推進課担当課長 高橋 謙司	
経企-27 文学館管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	文化人権推進課
総合計画上の位置付け		分野	文化	施策の方針
				文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	観覧や教養及び調査・研究に資するため。
効果	鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度により、文学館の効率的な管理運営を行った。</li> <li>指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	110,046人		112,066人		事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	71,059	72,158		当初予算(千円)	92,707		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	32			その他	3,435		
	一般財源	71,027	72,158		一般財源	89,272		
	人員配置数	0.7	0.7		人員配置数	0.7		
	人件費(千円)	5,312	5,318		人件費(千円)	5,436		
事業経費	総事業費(千円)	76,371	77,476		総事業費(千円)	98,143		
	市民1人当りの経費(円)	430	437		市民1人当りの経費(円)	555		
	対象者1人当りの経費(円)	694	691		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	1. ある 3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか 今後も市が実施すべき事業か	3. 変わらずにある 2. 廃止・休止による影響は小さいがある 4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 0-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> 0-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である 協働実施済の場合のパートナー 市民団体（不特定）
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 平成28年は、開館(昭和60年)当初から設置されている収蔵庫の一部空調を更新するため、予算規模を拡大した。引き続き、指定管理者と協議し、緊急度の高い箇所の修繕を計画的に行っていく必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費は、委託料について削減の可能性があるため、「削減余地」を「ある」とした。 文学館は本市ゆかりの文学及び文学者の功績を市民等に発信する場であり、本市の文化振興において重要な役割を担っている。本市景観重要建築物である本館やバラ園を有する広い庭園等、魅力あふれる施設であり、毎年度10万人を超える来館者数を確保している。また平成27年度においては過去最高の来館者数を記録しており、事業は妥当であり、成果は概ね出ているとした。 市民団体等との協働事業は指定管理者によって既に行われているが、今後も地域文化振興に寄与するため、地域イベントとの連携や庭園を活用した協働企画等を指定管理者と協議し、実施していく。 開館から30年が経過し、施設・設備の老朽化が顕著であることから来館者の安全性を考慮し、緊急度の高い箇所から随時修繕を行っている。引き続き、指定管理者と協議し、計画的に修繕を行っていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	施設・設備の老朽化に伴う大規模修繕を視野に入れ、開館に支障が出ないよう緊急度の高い箇所・設備について計画的に修繕を実施する必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	指定管理者と協議を行い、不具合の生じた箇所及び来館者に危険が及ぶ可能性がある緊急度の高い箇所の修繕を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	開館から30年が経過し施設・設備の不具合が顕著に現れてきた。大規模修繕を視野に入れ、指定管理者と協議し、来館者の安全を考慮し、緊急度の高い箇所・設備について修繕を行っていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	延べ床面積・来館者数(H27)								
団体名	鎌倉市 鎌倉文学館	県 県立近代文学館	横浜市 大佛次郎記念館	世田谷区 世田谷文学館					
他市実績	1,412㎡ 112,066人	7,285㎡ 78,162人	768㎡ 17,036人	4,593㎡ 152,305人					

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	来館者数(年度)	単位	人	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
より多くの市民等に施設を利用してもらうため。	目標値	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	実績値	110,046	112,066				
	達成率	110.0%	112.1%				

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標来館者数を一定にし、毎年度目標値以上の来館者数を目指すこととする。						
-----------------------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---